

【LINE】 サービス開始5周年を記念して LINEキャラクタースタンプ50%OFF、LINE Out 無料など1日限定キャンペーンを開催

2016.06.22 LINE

大切な人ともっと話そう、大切な人をもっと近くに感じよう

LINE株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」 <http://line.me> が、明日6月23日をもってサービス公開から5周年を迎えることを、お知らせいたします。



コミュニケーションアプリ「LINE」は、家族や友人、恋人など身近にいる“大切な人”とコミュニケーションをとることができるサービスとして2011年6月23日に開始しました。

以来、1対1～複数人でリアルタイムにチャットができる「トーク」や、自分の気持ちを簡単に表現できる「スタンプ」、相手と無料で通話ができる「無料通話・ビデオ通話」など、一貫してユーザー間のコミュニケーションを豊かにする機能を提供しアジアを中心に利用者が拡大、以降も、国内外の固定・携帯電話番号へ低料金で通話ができる「LINE Out」や、LINEを通じてユーザー間での送金や、提携サービス・店舗での決済を簡単・便利に行うことができるモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」など様々な機能を追加してまいりました。

また、LINEの豊富なユーザー基盤と高い利用率を背景にしたプラットフォーム展開を推進しており、ライブ感を活かしユーザー同士がその場で盛り上がる視聴体験を提供する動画配信サービス「LINE LIVE」や、音楽を通じコミュニケーションのきっかけを生み出す定額制オンデマンド型音楽配信サービス「LINE MUSIC」、SNS上だけでなくリアルで楽しめる自撮り動画アプリ「egg」など、LINEを入り口に、オンライン・オフライン問わず、様々な情報・サービスを提供するスマートポータル戦略を強化しています。

そのような中、「LINE」は明日2016年6月23日をもってサービス公開から5周年を迎えることとなりました。現在、「LINE」の利用者は日本のみならず、タイ・台湾・インドネシアなどアジアを中心に広がり、老若男女問わず多くの方に、単なる連絡手段ではなく、より親密なコミュニケーションをとることができるサービスとして利用いただいております。

この度、サービス開始5周年を迎えるにあたり、「CLOSING THE DISTANCE」というミッションのもと、コーポレートサイト（<http://linecorp.com>）のデザインを刷新する*1とともに、5周年を記念したキャンペーンを実施致します。

*1：6月23日よりデザイン変更予定

キャンペーンでは、30種類以上のLINEキャラクタースタンプが50%OFFで購入できたり、「LINE Out」を使用している国内外の固定・携帯電話が10分間無料になったり等、“大切な人”をもっと近くに感じていただける機会を提供する内容となっております。

【LINE 5周年キャンペーン 概要】

■LINEキャラクターのスタンプが50%OFFで購入可能

ブラウン・コニーなどの30種類以上のLINEキャラクタースタンプを50%OFFで提供致します。

期間：2016年6月23日（木） 11時00分～2016年6月24日（金） 10時59分 ※日本時間

購入方法：LINEアプリ内の「その他」にある「スタンプショップ」からご購入可能。



■ 「LINE Out」で、友だちへの通話が24時間無料

国内外の固定・携帯電話番号へ通話ができる「LINE Out」が、キャンペーン期間中、何度でも1コールあたり10分間無料。

対象：LINE Out対象国全て

期間：2016年6月23日（木） 11時00分～2016年6月24日（金） 10時59分 ※日本時間

内容：1コール当たり10分まで、国内外の固定・携帯電話番号への通話（ビデオ通話含む）が無料になります。

※使用方法・海外対象国などの詳細はこちらをご覧ください。（<http://line.me/ja/call>）

■ 「LINE Camera」で使える動くスタンプを無料配布

ブラウンなどのLINEキャラクターが勢揃いしたLINE5周年メッセージ入りの動くスタンプが無料で楽しめます。

利用期間：2016年6月22日（水） 11時00分～2016年7月22日（金） 23時59分

URL：<https://lin.ee/flbcZW2/hxmo>（スマートフォンでアクセスしてください。）



LINEは、今後も「CLOSING THE DISTANCE」というミッションのもと、アジア発のコミュニケーションプラットフォームとして、モバイル市場をリードし、新サービスの提供やグローバル展開などを進め、より多くのユーザーの皆様の生活が豊かになるような取り組みを積極的に行なってまいります。